

第3次千葉県食育推進計画



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

平成28年12月

千葉県・千葉県教育委員会

はじめに

千葉県は、温暖な気候と風土に恵まれ、四季を通じて様々な農林水産物が豊富にある食の宝庫です。この多彩な食材と郷土に伝わる料理や食文化は「ちばの恵み」であり、私たちの財産です。また、私たちの食生活は、自然の恩恵の上に成り立っており、食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについて、感謝し理解することが大切です。



現在は、食べたい時に食べたいものを自由に口にすることができるようになりました。一方で、「食」への関心や「食」を大切にする意識が薄れ、食生活の乱れや栄養の偏り、それらに起因する肥満ややせ、生活習慣病の増加など様々な問題が生じています。

県では、食育基本法に基づき、千葉県食育推進計画（平成 20 年 11 月）及び第 2 次千葉県食育推進計画（平成 25 年 1 月）を策定し、市町村、関係機関・団体、ちば食育ボランティア、ちば食育サポート企業等の関係者とともに食育の推進に努めてまいりました。その結果、県内各地で数多くの取組が行われるようになりましたが、一方で、県民一人一人によるバランスのよい食生活の実践に向けて、より一層の食育推進が必要となっています。

そこで、これまでの取組の成果と課題、食をめぐる状況を踏まえ、平成 29 年度からの 5 年間を計画期間とする「第 3 次千葉県食育推進計画」を策定しました。

本計画では、第 2 次計画の基本目標『「ちばの恵み」を取り入れたバランスのよい食生活の実践による生涯健康で心豊かな人づくり』を継承しつつ、世代別の視点を取り入れ再構築するなど、より一層食育推進の取組を充実し、県民一人一人が主役となり、健康で笑顔あふれる暮らしの実現を目指します。

今後とも「ちばの恵みで まんてん笑顔」をキャッチフレーズに、市町村をはじめ食育関係者との連携・協力のもと、チームスピリットを発揮し、「チーム千葉」一丸となって、食育の推進に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、多大な御尽力をいただきました「千葉県食育推進県民協議会」の皆様をはじめ、御意見、御提案をいただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成 28 年 12 月

千葉県知事 森 田 健 作

目 次

第1章	計画策定の基本的事項	1
第2章	食をめぐる現状	3
第3章	第2次計画における指標の達成状況と課題	7
第4章	千葉県が目指す食育の方向	9
第5章	具体的な取組	11
第1	施策の体系	11
第2	施策の展開	12
I	生産から食卓まで食のつながりを意識した食育の推進	12
1	魅力発信と地産地消の推進	12
2	生産者と消費者の交流の促進	13
3	食文化の普及と継承	13
4	食の循環や環境を意識した取組の推進	14
II	子供から高齢者まで各世代に応じた食育の推進	15
1	就学前の子供	15
2	小学生・中学生	15
3	高校生	17
4	青年期（概ね19歳～39歳）	19
5	壮年期（概ね40歳～64歳）	19
6	高齢期（概ね65歳～）	20
III	ちばの食育の推進体制強化	21
1	食育を進める人材の確保	21
2	多様な関係者の連携強化	21
3	地域における取組の強化	22
4	食に関する情報の提供	22
第6章	指標及び目標値	24
第7章	推進に当たって	25
	食育推進体制図	26
	食育に関する用語集	27
	参考資料	34

